

武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部

# 教育後援会ニュース

No.18

大学と父母等をつなぐ情報誌

2024.2

地域別教育懇談会は父母等の皆様が本学教職員と直接交流いただく教育後援会の主要行事のひとつです。毎年8月下旬から9月下旬にかけて金沢、広島、高松、福岡、本部（西宮）の5会場にて実施しています。

本部（西宮）会場は9月23日（土）に中央キャンパスをメインに、浜甲子園、上甲子園キャンパスも同時開催し、3キャンパス合計で出席総数612名の父母等の皆様にご参加いただきました。

公江記念講堂で行われた全体会では、辻村教育後援会会長の挨拶、瀬口学長の挨拶および本学の教育方針や現状の取組みの説明に続き、教務部の部長から各部署での取り組み状況（徳重学生部長から学生生活について、蓬田教務部長から授業等について、内田キャリアセンター長から就職活動について）の説明が行われました。



全体会会場



学科全体会：社会福祉

多くの父母等の皆様から具体的内容で非常に参考になったと感想をいただきました。

全体会終了後はご息女が所属する各学科に分かれ、学科全体会、個人懇談が行われました。個人懇談は各学科の担当教員（担任またはゼミ担当等）と成績状況や教育内容について個別に懇談できる絶好



瀬口学長



辻村教育後援会会長

## 地域別教育懇談会（本部会場）開催内容

（2023年9月23日実施）

**全体会** 公江記念講堂 12:30～

（浜甲子園キャンパス及び上甲子園キャンパスはzoom配信）

●教育後援会会長・学長挨拶

●教育の現状と取り組み

学生部（学生生活について）

教務部（授業等について）

キャリアセンター（就職活動について）

**学科全体会** 各学科会場 13:20～

**個人懇談** 研究室等 14:30～

**共通プログラム（自由参加）** 各相談部署にて 14:00～

●各種相談（就職・教職・留学・奨学金・学業・クラブ他）

●キャンパス見学（自由散策）11:00～

（附属図書館、日下記念マルチメディア館、公江記念館他）



学科全体会：英文

の機会ですので、今回個人懇談をご希望されなかった皆様も次回ぜひお申込みいただきたく存じます。

懇談会の空き時間を利用して、就職・留学・奨学金の相談コーナーや本学のグッズ販売ブースを訪れる方や、図書館やキャンパス内を散策される方も多く見受けられました。ご息女が日々過ごされている



学科全体会：生活環境

キャンパスの施設をゆつくりご覧いただける貴重な機会ともなっております。

令和6年度の地域別教育懇談会のご案内は在学生のご家庭に7月に送付させていただきます。予定です。全体会の内容は5会場とも同じですので、例えば岡山にお住いの方は中国地区の広島のみならず、本部や高松会場へのご参加も歓迎

## 目次

- 地域別教育懇談会 ..... 1.2
- 会長・支部長あいさつ ..... 3
- 就職活動体験談 ..... 4
- キャリアセンターだより ..... 5
- 学生傷害見舞金について ..... 6
- 教育後援会支援報告 ..... 7
- SPOT LIGHT
- 卒業証書・学位記授与式のご案内 ..... 8



共通プログラム：キャリアセンター

しております。ひとりでも多くの父母等の皆様のご参加をお待ちしております。

なお、地域別教育懇談会は父母等の皆様のご意見等に基づき改善を行っております。ご意見、ご要望等がございましたら事務局までお寄せください。

\*\*\*\*\*  
**各地の地域別教育懇談会**  
 ～金沢・高松・広島・福岡～  
 \*\*\*\*\*



全体会

支部会場「金沢、高松、広島、福岡」の4地区においても開催することができました。  
 大学からは瀬口学長をはじめ、辻村智子教育後援会会長、各学部・学科の代表教員が会場に向き、支部の父母等の皆様に少しでも大学に親しみを感じていただき、ご息女の教育について理解をしていただきたいの思いから、地域別教育懇談会を支部でも開催させていただきました。  
 4会場の全体会では支部長あいさつ、学長のあいさつに続き、教育の現状と取り組みの説明を学生生活及び学生支援を学生部より、授業や成績関係を教務部より、一般就職についてキャリアセンターから専門的な知識と共に最新



個人懇談会

の就職情報の説明がされました。  
 また、在学生（就職内定者）に就職活動体験談を発表していただき、Uターン就職を含めたより身近な話題を提供しています。学生の生の声が聞けて良かった。もっと話が聞きたかったという意見をいただきました。  
 続く個人懇談会では、成績、担任やゼミ担当教員からのコメント等をもとに、じっくりと個々のお話を学科教員としていただきました。  
 同時に学長懇談・一般就職相談・教員就職相談・就職活動体験講演者のコーナーを設けて、父母等からの相談に対応しました。  
 参加者の父母等からは、「直



学長懇談

接お会いして先生とお話や相談ができて、学生生活の様子がよく分かりとても安心した、参加してよかった」という声が多く聞かれました。  
 地域別教育懇談会は大学と父母等との情報交換や支部のつながりを深める良い機会となっております。ぜひご息女と一緒にご参加ください。  
**（次年度の開催日程は本ページ下に記載）**



一般就職相談

**令和5年度の参加者数**

開催場所	期 日	会 場	参加者数
金沢会場	8月26日(土)	ANAクラウンプラザホテル金沢	27人
高松会場	9月2日(土)	リーガホテルゼスト高松	44人
広島会場	9月3日(日)	リーガロイヤルホテル広島	20人
福岡会場	9月9日(土)	福岡ガーデンパレス	14人
本部会場	9月23日(土・祝)	大学中央キャンパス、他	367人
*個人懇談会出席者数			<b>合計 472人</b>

**地域別教育懇談会 参加者のコメント**

**本部会場**

- 担任の先生と直接お話しできて安心しました。(新健1年)
- 学科全体会は具体性もあり、親としての日頃の子どもの状況の理解につながった。(建築1年)
- 先輩から具体的な就職活動体験報告を聞いて良かった。ぜひ、娘にも聞かせたかった。(新教2年)
- コロナ禍での入学から始まったので、大学に行ける機会があれば何度でも訪問したい。施設見学も出来て有難かった。(新薬3年)

**支部会場**

- 初めて参加しました。大学生活や娘の学校生活の様子がよく分かりとても良かった。(短英新1年)
- 学生さんの就職体験談が聞いて良かった。もう少し長く聞きたかった。(経営1年)
- 直接、先生からお話を聞くことが出来たので、大学生活を知ることができた。(景観1年)
- 学長先生とも楽しくお話をさせていただきました。大学の事を色々を知ることができました。(食栄2年)
- 色々な不安に対して先生が答えてくださり娘の様子も伝わってきた。参加出来て本当に良かった。(大英3年)

**令和6年度地域別教育懇談会(予定)**

開催場所	期 日	会 場
高松会場	8月25日(日)	リーガホテルゼスト高松
金沢会場	8月31日(土)	ANAクラウンプラザホテル金沢
福岡会場	9月7日(土)	福岡ガーデンパレス
広島会場	9月8日(日)	リーガロイヤルホテル広島
本部会場	9月28日(土)	大学中央キャンパス、他

ご案内は2024年7月に発送する予定です。ご都合の良い日・会場をお選びいただけます。

支部会場と本部会場との複数参加も可能です。

## 教育後援会会長・支部長あいさつ



教育後援会会長  
辻村 智子

このたびの令和6年能登半島地震により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

平素より皆様には教育後援会の活動にご理解とご協

力を賜り、誠に有難うございます。

本年度も地域別教育懇談会を支部4会場と本部会場において、無事に開催することができました。瀬口学長をはじめ、各学部、学科の先生方とのお話や相談ができ、父母等の皆様にはご息女の学校での様子を知っていただける機会となっております。是非、ご参加ください。

本会は、大学と連携し、学生の皆さんがより良い環境で学生生活を送れますように支援して参ります。

今後とも教育後援会活動へのお力添えを賜りますよう、宜しく願いいたします。



子ども達の学生生活がより充実したものとなるよう、父母等の皆様と同様に教育後援会の一員として努めてまいります。引き続きのご理解ご協力をお願いいたします。

最後にになりましたが、武庫川女子大学・同短期大学部教育後援会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

例年、開催されております地域別教育懇談会にご参加頂いた方は、ご息女がどのようなキャンパスライフを送られているか、また卒業後の進路について在学生の体験談や教職員のサポートを直にお聞き頂けたかと存じます。今回ご参加頂けなかった父母等の皆様のご参加をお待ちしております。今後とも教育後援会の取り組みにご協力を宜しく

お願いいたします。



北陸支部長

大家 弘聡

日頃より皆様には教育後援会にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

地方から大学に子どもを通わせる親として、授業や諸活動など大学の様子を知ることとは大変有意義であり安心感が得られます。その意味で、今年度も対面での地域別懇談会が金沢で開催できましたこととは喜ばしく、気さくに相談いただいた瀬口学長をはじめ大学関係者、就職活動体験談の学生さん、役員等の皆様方に深く感謝いたしますとともに、より多くの父母等の皆様にご参加くださることを願っております。



中国支部長

山本 洋司

父母等の皆様におかれましては、日頃より教育後援会にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

地域別教育懇談会では、瀬口学長をはじめ諸先生方との懇談で、親元を離れて暮らす娘の普段の様子や成績といった大学生活をより知ることが出来たことに深く感謝申し上げます。



四国支部長

西野 暁子

父母等の皆様におかれましては、教育後援会の活動にご理解、ご協力を賜りお礼申し上げます。親元を離れて生活するご息女の父母等の皆様にはなにかと心配事が多いかと思いますが、本会は皆様の不安を和らげるべく、大学と協力しながら活動を行っています。

昨年度から地域別教育懇談会が対面にて実施することができるようになり、少しずつではありますが参加人数も増え、本当にうれしく思います。大学の様子や就職活動の体験談、個人懇談や就職相談など、大学を身近に感じることができます。ご参加の皆様からもたくさん好評をいただきました。来年度もより多くの方々にご参加いただけますようお願いいたします。



九州支部長

中原 登

父母等の皆様におかれましては、教育後援会の活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。日頃よりご息女のキャンパスライフや将来の進路をお気に掛けていることと存じます。

ここ数年の社会環境は目紛しく変化をもたらしています。SDGsの社会変革は声高に謳われていますが、まだまだ目標とは乖離したところを否めません。教育後援会の活動は、より良き学生生活を過ごせるよう支援していくことを目的としております。皆様の積極的なご意見、ご参加をお待ちしております。

地域別教育懇談会では、「就職活動体験談」と題し、卒業生・在学生に、活動中に感じたこと、気付き、両親への思いなど多岐にわたる話をさせていただいています。今年度の内容の一部をご紹介します。

「自分にあったサポートを見つけよう」

大学生生活で地元を離れたことで、次第に「将来は地元に戻って働きたい」という思いが芽生え始め、3年生になったころにUターン就職することを決めました。しかし、就職活動といっても何からはじめたら良いのかわからず、大学のキャリアセンターで行われている自己分析や企業研究の説明会に参加しても、自分自身の就職活動とどのように結びつけるかイメージすることができませんでした。ただ、アパレルでアルバイトをしていた経験から「接客業で働きたい」というぼんやりとした思いもあったため、まずは地元の小売業界を中心に企業を絞っていきましました。

3年生の夏ごろから説明会に、秋ごろからはインターンシップにも参加ははじめましたが、インターンシップへの参加はかきりハドルが高くなりました。コロナが落ち着いてきたことから、対面中心になっており、交通費もかかるため、参加すべきかどうかかなり悩みました。しかし、オンラインより対面の方がその企業の雰囲気を感じることができ、企業の方々と距離感も近くなるのではないかと思い、金銭面も考えながら可能な限り対面のインターンシップにも参加するようしました。

3年生の冬には、やりがい、企業の雰囲気、自身の希望を考慮し、3つの企業に絞りました。4年生になる前の春休みには、どいつだったところが良いと思ったのか、自分の考えを紙に書きだし、インターンシップや説明会で学んだことを整理し、エントリーシート作成に取り組みました。

その結果、第一志望であった企業に内定をいただくことができました。私が内定をいただいた企業は、アパレル、食料品をはじめ様々なものを扱う小売企業です。インターンシップや説明会を通して企業の考え方に共感でき、若手の社員でも店舗運営に関わりながら成長することができる環境があると感じていた企業で、県民

就職活動体験談

ととって親しみやすく身近に感じられる企業であることにも魅力を感じていました。

私は就職活動全体を通して、大学のキャリアセンターを通して知った、地元のUターン就職サポートセンターを利用し、興味のある企業とつながりを作っていくきました。地元企業の情報を持っている方々にサポートしていただけたことはすごく大きかったです。また、私はアルバイトとボランティア活動をしていたことから、時間を取って学校のキャリアセンターに行くことが難しくかったため、個別で時間を調整しつつ自宅からオンラインで面接対策や就職相談に乗っていただけの体制はとてもありが良かったです。

家族は県外大学に進学する際にも就職するにあたって何も言わず、ただ私が納得のいく形で進むことができるように応援してくれていました。だからこそ、自分のペースで考えながら就職活動を続けることができましたと思います。

どのような道を選択するとしても悩みは尽きないと思います。その中で今の自分にとって最善の選択肢を見つけ出せるよう自分にあったサポートを見つけて活用していくことが大切なのではないかと思えます。

(後略)

「自己分析の大切さ」

将来は医薬品業界で働くことを夢見ていました。しかし、就職活動を始めていく中で、自分自身にとって何が最適な道かが、ますますわからなくなりました。そこで、私は

インターンシップを通じて、医薬品だけでなく食品や化粧品分野にも足を踏み入れることにより、異なる業界での経験を積み、自分自身の興味やスキルを深く理解する機会を得ました。また、医薬品業界に限定されず幅広い視野を持つことの重要性に気づくことができました。

私は職種選択においても迷いを抱えませんでした。人々と接することで笑顔を提供することが好きな私は、営業職に興味を抱いていました。しかし、親からは理系の知識を生かす研究職に進むことを勧められました。この言葉に同意しながらも、独自の選択をするに際しては葛藤が生じました。そして、友人のアドバイスもあり、自己分析を再度行うことにしました。その結果、やはり営業職に魅力を感じることが明らかになり、私は自分の道を見つけることができました。私の迷いや葛藤を経て、自分の強みと情熱に基づく選択が最善だと確信しました。

就職活動において役立ったことは、大学生活を充実させることです。大学入学当初、コロナの影響で遠隔授業が主流となりましたが、それでも部活動を通じて仲間を得ることができました。アルバイトも経験し、将来の方向性や理想の職場について考える機会を得て、コミュニケーション力の向上や相手の気持ちを理解するスキルを養うことができました。また、友人と過ごす休日や趣味に没頭する時間は、エントリーシートの内容に対するアイデアを豊かにしました。それでも、エントリーシートの書き方や面接の対策に不安を感じていましたので、大学のキャリアセンターを利用しました。

近年では自己PR動画の提出を求められる企業も増えており、その動画の作成方法についてはわからないことはわかりました。しかし、キャリアセンターの講座を受講することで、自己PR動画を効果的に制作し、上手に活用する方法を学ぶことができました。

これらの事前準備は、不安や緊張を和らげる一方で、就職活動の目標を明確にする手助けとなりました。大学生活で培ったスキルとキャリアセンターのサポートは、私の就職活動を効果的かつ自信を持って進めることができる基盤を築いてくれました。

(後略)

各会場で講演いただいた方々(敬称略)

- 金沢会場 朝日奈奏未(新健)
- 高松会場 長尾 結佳(新健)
- 児島 里奈(大環)
- 久次米 結(大環)
- 広島会場 古山 湖都(大環)
- 福岡会場 国仲 琉南(大心)
- 仲尾 優希(大康)

本部会場で講演いただいた方々(敬称略)

- 久保 明穂(大日)
- 津本 夏輝(大英)
- 前北 莉杏(大英)
- 向 星羅(大心)
- 田中 空(大心)
- 小栗 聡美(大環)
- 尾田 萌香(大環)
- 穴吹 実愛(大情)
- 今井菜穂子(大情)
- 清水万柚子(食栄)
- 尾白 有里(大演)
- 後藤 千聡(大護)
- 石田 千尋(経堂)
- 玉垣 緋莉(経堂)
- 米田のどか(新教卒)
- 松本 優里(新健卒)
- 濱元 玲那(新健卒)
- 中岡 瑞貴(建築修了)
- 松本 紗希(景観修了)
- 西村波那子(大食卒)
- 坂田 桃(大心卒)
- 末永 南美(新薬卒)
- 胡麻 美咲(大康卒)



地域別各会場では講演者への質問コーナーも設けられました。

## 就活解禁？—就活の準備

キャリアセンター センター長  
内田 正博

就活生にとって、3月と6月はたしかに節目の月です。とくに3月1日は、メディアなどで「就活解禁」という言葉が誌面や画面に登場します。「解禁」という語を見て、就活とその準備はそれまでは取り掛かる必要はない、3年生3月や4年生から始めればよいのだと勘違いする学生が少なからず出てきます。

しかし、あくまでこれは企業の採用活動の日程(3月は採用情報の公開および企業説明会の開始、6月は面接等の開始)であり、言い換えれば「採用活動解禁」の日程に過ぎません。

よく考えれば当然のことですが、それまでに学生は納得のいく十分な準備を重ねておかなければなりません。例えば、大学入試においても、その日程や方法の情報公開があってから受験準備を始める人はおそらくいないでしょう。

きわめて重要で予想外に時間を要する進路選択の準備は、自

分を知ることとその自分を活かすことのできる社会(職業、職場、企業等)を知ることの2つです。中でも最も厄介な課題は自分を知ること。普段から多様な活動と他者との会話を通してこれらの経験から、自分の強みを知り、絶えず新たな自分を発見しながら、自分にふさわしい仕事や職場を見出すことが肝要です。

しかも、上記の企業の日程は一応の目安に過ぎません。すべての業界と企業がこれに従うわけではなく、いっそう早期化が加速すると見られています。早めの準備と情報収集は必須です。また、就活のためだけでなく、自分の人生とキャリアを視野におけば、自分を知ることと社会を知ることがきわめて重要です。学生生活の充実を図ると共に、自分を知ることと社会を知ること、さらに自分の経験の言語化にも、1年生から取り組んでももらいたいと願っています。

## 【最近の就職活動】

2024年3月卒業予定の大卒求人倍率は1.71倍(出展:株式会社リクルート「ワークス大卒求人倍率調査」。前年1.58倍より0.13ポイント上昇)。不透明な景況感や原材料価格の高騰などにより依然として厳しい業界はあるものの採用意欲は回復傾向にあります。

また、学生の皆さんの希望も安全志向が続いており、大企業希望者は3年連続で増加しています。早い段階から志望動機や自己PRが明確に主張できるようになっていないと内定獲得が難しくなっています。

2025年3月卒業予定者対象の採用活動時期も前倒しの傾向があり、インターンシップへの参加など早期から主体的に活動している学生ほど内定を獲得するケースが増えています。

## 【キャリア・就職等相談】

「大学で友人と会ってもあえて就活の話話を話題にしにくい」と不安を感じている学生の声を聞きます。そのような時にはぜひキャリアセンターをご利用ください。

キャリア・就職相談では、専門のキャリアカウンセラーが対面とオンラインによる個別面談を実施し、一人ひとりの悩みに寄り添っています。カウンセラーとやりとりをすることで不安が軽減されることもあります。ご息女にとって、初めての就職活動です。さまざまな不安解消のためにも、ぜひキャリアセンターの利用をお勧めください。

MUSESのキャリア支援メニュー「キャリア・就職等相談申込」から予約をいただいただけます。



## 主な就職活動支援内容

就職活動の方法に変化はあるものの、大事なことは変わりません。まずは「情報収集」から始めましょう。自分自身の振り返りを行う自己分析、社会や仕事について情報を収集する業界・企業・職種研究など自分と社会を改めて知ることが大切です。そして、働きたいと思える企業を選択できる力を身に付けましょう。

情報収集の一つのツールとして、MUSES「キャリア支援メニュー」があります。就職相談の予約やガイダンスの申し込み、企業・求人・セミナー・インターンシップ・リターン情報の参照、OG情報の検索など、さまざまな機能があり、武庫女生限定の情報も満載です。最終的には「進路報告」メニューからご息女ご自身の卒業後の進路を入力していただけます。



## &lt;主な取り組み&gt;

## ●各種セミナー・ガイダンスの実施(無料)

➡早期からキャリア形式を考え、社会人基礎力をつけるキャリアセミナーや就職活動に役立つガイダンスを多数実施しています。

## ●筆記試験対策の実施(有料)

➡SPI模試、玉手箱対策講座など年間を通じてオンライン受講できる講座を数回実施しています。

## ●インターンシップ・就業体験の実施

➡企業等で一定期間行う、実習・研修的な就業体験です。社会で求められる知識や能力を認識できる良い機会となっています。実施方法は対面かオンライン、企業によってさまざまです。

## ●企業見学ツアー(オープン・カンパニー)の実施

➡スタッフが引率して、企業等のオフィスや現場を見学します。実際に自分の目で確かめることは将来の目標設定や適性発見、業界研究・企業研究に役立ちます。

## &lt;セミナー・ガイダンススケジュールはこちらから&gt;

<https://info.mukogawa-u.ac.jp/career/schedule/>



## 就職活動に関する教育後援会からのご支援ありがとうございます！

## 学内合同業界研究会・企業説明会

2025年3月卒業予定者対象の学内合同業界研究会・企業説明会を、2月7日、8日、15日、16日、19日、20日、3月6日、7日の8日間にわたって行います。約260社の企業に参加していただき、対面とオンラインで実施する予定です。

武庫女生を積極的に採用したいという企業と出会うチャンスです。ぜひ、参加をお勧めいたしますよう、よろしくお祈りいたします。

## 就活特訓講座

毎年、学生の申し込みが非常に多い人気講座「就活特訓講座」を今年度も随時、実施しております。オンライン版、対面版両方の経験ができるようにプログラムを工夫しています。

【エントリーシート編】12月～3月に23回(予定)

【グループディスカッション・グループ面接編】12月～3月に24回(予定)

※企業の動きを見ながら適宜開催します。そのため開催時期が前後することがあります。

最新の情報はキャリアセンターホームページをご覧ください。



## “学生傷害見舞金”制度をご存知ですか？

教育後援会には主な事業が3つあります。「地域別教育懇談会」「教育後援会奨学金」そして3つ目が「学生傷害見舞金」です。「合格者サイト」「STUDENT GUIDE — For Campus Life」で内容について触れておりますが、改めてこの「学生傷害見舞金」について説明致します。

「学生傷害見舞金」とは、本学学生が「正課中の事故による傷害」および「本学公認団体(クラブなど)又は公認ボランティア団体による正規の活動(以下、学友会活動)中の事故による傷害」に対して、教育後援会より支給される見舞金です。保険金ではありません。規程により見舞金算出方法、対象期間、申請期限が定められております。

過去の事故による傷害の一例を挙げます。正課では、「制作中にカッター刃でのケガ」「実習中に子供達と一緒に遊んだ際のケガ」などです。学友会活動では、「運動中の接触によるケガ」「運動中の転倒によるケガ」などがあります。令和4年度は、正課中22件、学友会活動中が31件、合計53件ありました。見舞金の支給合計金額は、643,610円でした。



約2年から6年に渡る大学生生活は、学費などの経済的負担が父母等の皆さんにとって一番大きな時期ではないでしょうか。この学生傷害見舞金事業は、万が一の時、治療費、入院費の負担を少しでも抑えようという教育後援会の相互扶助の考えに基づきます。

事故に遭わないにこした事はありませんが、万が一、正課中、学友会活動中にケガをした場合は、すぐに(規程により申請期限が定められているため)学生課へ連絡してください。

# 教育後援会支援報告

教育後援会では学生会行事に対し「学生生活諸活動補助費」や「研修費」という形で支援しています。今年度の委員長より、行事を終えて一言、報告をいただきました。

第68回文化祭は、入場制限なしの対面開催、そして4年ぶりに食品の模擬店が復活したこともあり、大いに盛り上がりました。

総勢85名の実行委員で、文化祭スロージャンにもある「個性豊かな花たち」のように、当日に向けて努力しました。模擬店やキッチンカーなど、老若男女お楽しみいただけるようなプログラムをたくさん用意し、約8,000人の入場者に恵まれました。

様々な苦労もあった1年間でしたが、私たち「文化祭実行委員会」全員が楽しくキラキラと輝きながら活動することができました。文化祭開催にあたりご協力いただいた全ての皆様に、厚くお礼申し上げます。来年度以降の文化祭に関しても、ご支援のほどどうぞよろしくお願いたします。



## 第59回 体育祭 (体育祭実行委員会)

第59回体育祭は、4年ぶりの完全対面で開催されました。

体育館で、しっぽ取りや玉入れなどの競技や、ミニゲームを企画し、高校の体育祭をイメージし、楽しんでいただけのものを企画しました。また、武庫女の伝統である、「応援合戦・コスチューム」については、実際に採点も行いました。どの団体もとても感動する演技で、また来年も見たいと思いました。コロナ禍のオンライン、ハイブリッド型での体育祭から少しずつ本当の体育祭に近づくことができます。委員全体で、伝統をつなぎ、このような体育祭をつくるサポートができたことをとても嬉しく思います。来年も、より一層楽しく有意義な体育祭を無事開催できることを願っております。



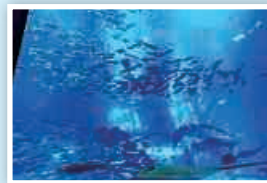
## マリンスポーツ講習会 (運動部委員会)

沖縄県の奥間ビーチにおいて、マリンスポーツ講習会を開催しました。

美ら海水族館やシュノーケル、ダイビング、国際通りにも行き、とても充実した4日間を過ごすことが出来て大満足です。特にシュノーケルとダイビングは天気にも恵まれ、カラフルな魚を間近で見ながら泳ぐことが出来て、一生の思い出です。インストラクターの方もこまめに声を掛けてくださり、安心して体験できました。

今回講習会に参加された皆さんから「楽しかった」「また来年も行きたい」「講習会に参加して本当に良かった」という声をたくさんいただきました。また、さまざまな学年や学部の方が参加してくださり、普段とは違った仲間と交流することができました。本講習会ならではの良さです。

参加してくださった皆さんありがとうございました。来年度もよろしくお願いたします。



## クリスマスツリー点灯式 (総務委員会)

昨年に引き続きオンラインと対面のハイブリッド型で開催しました。多くの学生や教職員、地域の人が見守る中、高さ5メートルのツリーに一齐に明かりが灯りました。幻想的にきらめくクリスマスツリーの前で、手話部、吹奏楽部、音楽学部の浜甲カントービレ、エアロビクダンス部のパフォーマンスが披露され、会場全体がクリスマスモードに包まれました。

出演者の皆さんとの密な打ち合わせ、クリスマスツリーの装飾等の事前準備が大変でしたが、点灯式当日、皆さんに楽しんで頂けて本当に良かったです。

本日まで令和5年度総務委員会の活動にご理解、ご協力頂きましてありがとうございました。





教育後援会ではクラブ活動に対し「学生諸活動補助費」という形で支援しています。今回はその中から文化部の吹奏楽部と運動部の新体操部を紹介します。

## 学友会

SPOT LIGHT

吹奏楽部  
・  
新体操部

吹奏楽部「むすい」は、現在、1年生21人、2年生10人、3年生8人、4年生6人の計45名で活動しています。コロナ禍で満足のいく活動が出来なかった部員が多いなか、今年はややく吹奏楽部としての活動を正式に再開することができました。

入学式での演奏、OGの方と交流する「おもしろ音楽会」や夏に開催する「ふれあいコンサート」、また定期演奏会に向けた「夏合宿」、年間行事では最大の行事となる秋に開催する「定期演奏会」、冬に中学生と合同で演奏する機会がある「クリスマスコンサート」など様々な活動を行っています。高校までとは違い、日々の生活では異なる目標に向かつて頑張っている私たちですが、吹奏楽をするときは全員で心合わせて曲を作り上げようと、音をこたにする瞬間を私たちが「むすい」は、とても大切にしています。私たちにしか魅せることできない演奏を皆様にお届けしたいと思えます。これからも吹奏楽部の応援を何卒よろしくお願いたします。



新体操部は現在、監督、コーチ2名、4年生3名、3年生5名、2年生5人(マネージャー1名)、1年生6名の選手、合計19名で活動しています。令和5年度関西学生体操選手権大会、西日本学生体操選手権大会では団体競技個人競技ともに優勝。全日本学生体操選手権大会は、団体競技5位、個人競技は種目別、総合選手権の部において全て優勝という西日本からは初の成績を残しました。今年のチームのスローガン「必笑(ひっしょう)を掲げ、どんなことがあってもみんな笑顔で頑張り続けられ、最後には必ず良いことがあると信じてこの1年頑張つてきました。今後はこれまでの思いを繋ぎ、チーム一人ひとりがそれぞれの目標に向かつて支え合い、高められるようなチームにしていきたいと思えます。これからも新体操部の応援をよろしくお願致します。



## \* \* 令和5年度 卒業証書・学位記授与式 \* \*

今年度、大学の卒業式は2日間に分けて挙行いたします。昨年度より、ご父母様やご家族の方の参列をしていただけるようになりました。ただし、教室への立ち入りはご遠慮いただいておりますので、あらかじめご了承ください。式典に関する最新情報、詳細の内容は、後日ホームページ・MUSES(学生専用ポータルサイト)にてお知らせさせていただきますので、ご確認ください。

### 大学卒業式

開催日時		対象学部	開催場所
令和6年3月19日(火)	10:00~	文学部、建築学部、音楽学部、看護学部	中央キャンパス 公江記念講堂
	14:00~	教育学部、生活環境学部、薬学部	
令和6年3月20日(水)	10:00~	健康・スポーツ科学部、食物栄養科学部、経営学部	

### 短大卒業式

開催日時	対象学科	開催場所
令和6年3月21日(木)	全学科	中央キャンパス 公江記念講堂



教育後援会ニュースは、大学のホームページ「父母等の方」のページで閲覧することができます。  
 ホームページアドレス <https://www.mukogawa-u.ac.jp>

今後も、より良い教育後援会活動を行えるよう、ご意見・ご感想等ございましたら、学生部までお寄せください。